

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くろーばー		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 17日		～ 2025年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に音楽療法、(ことば療法士による)を開催している。	発声だけではなく、表現力、創造力、集中力等が身につくように取り入れています。音楽療法は自主参加ですが、全員参加して楽しんで参加してくれています。	・講師による音楽療法から通常行える支援を取り入れ、日常的な支援にする事。専門職から助言や教えを請い自分たちのスキルを向上させること(セミナーの開催等) ・保護者様も参加できるセミナーの案内の配布
2	機械浴を設置している為、座位ができない方も安心して入浴して頂ける。	一人ずつお湯の入れ替えを行い、清潔な環境で入浴してもらえるようにしています。	安全に入浴してもらえるように、個別の安全計画を作成。通常、入浴に携らない職員にも共有することで、緊急時に対応できるようにする。
3	法人内に就労支援A型事業所、B型事業所、生活介護がある。	将来設計の見通しが立てやすく、就労に必要な訓練をデイで取り組む事も出来る。	保護者様に他事業所の案内があまりできていなかった。モニタリング時に周知していけるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別プログラムに取り組む時間が少ない。	自由時間と療育時間の切り分けが必要。 子供たちが興味を持って自主的に参加できるようにしていきたい。	個別プログラムの内容強化。 スタッフのスキル向上と個々の得意分野を活かした活動プログラムの作成と実施。 短時間でも集中してできる環境整備。
2	集団活動プログラムの提供が少ない。	個別に対応している時間が多く、どうしても集団活動の機会が少なくなってしまう。	音楽療法は比較的全員参加できている。 その他のプログラムは、特性に応じた工夫が必要。集団活動の中でも個別に対応していける職員のスキル向上。
3	他機関を含め、事業所外とのつながりが希薄。	積極的に事業所外とのつながりを求めています。	提供すべき支援の中に「移行支援」を積極的に取り入れる必要があると考えています。 一人を長く、多くの職種で見れる社会の一員になれるようにしていきたいです。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	くろーばー
------	-------

公表日 2025年2月6日

利用児童数 2024年12月31日

回収数 13

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	92.30%		7.69%		・利用当初よりも室内が広がっています。 ・今後も安全に過ごして頂けるよう、十分なスペースを確保してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	76.92%		7.69%	15.38%	・よく見て頂いています ・定められた職員を配置し、専門性を高めて行けるようにします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	84.61%	7.69%	7.69%		・車椅子のお子さんにも利用しやすい環境になっていると思います。 ・フロア全体がバリアフリー化しており、お手洗いや浴室には緊急ベルも備え付けております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	92.30%		7.69%		・いつもキレイに清掃して頂き助かります。 ・子供のお気に入りの場所（ソファ）があるようです。 ・毎朝の清掃、食事前や後、おやつの前、子供たちの帰宅後も行ってまいります。今後も継続致します。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	76.92%	15.38%		7.69%	・とても理解して下さっているので安心です。 ・専門性を高めるための外部研修にも積極的に参加していき、より良い支援が提供出来るように努めて参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	84.61%	15.38%			・合っていると思います。 ・公表内容に沿えるように努めて参ります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	84.61%	15.38%			・作成して下さっています。 ・作成されていません
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	76.92%	15.38%		7.69%	・適切だと思っています。 ・保護者様やお子様のニーズに沿った計画が長きに渡り大きく変わらない計画になっていた方もあり、深く反省しております。子供の成長・発達に合わせた支援を提供できるように日々の支援の中から分析を行うと共に、職員間での情報共有を密に行うことで職員間での意見交換の時間を増やし、意思決定支援が行えるように致します。また、ガイドラインに沿った個別支援計画になるよう外部研修にも積極的に参加し専門性を高めて行けるように致します。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	76.92%	23.07%			・行なわれています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	76.92%	7.69%	7.69%	7.69%	・工夫をして下さって助かります。 ・プログラムが固定されている部分もありますが、土曜日や長期休暇を利用することで活動の場が広がるようにしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7.69%	15.38%	7.69%	69.23%	・他の事も接して我が子も嬉しそうです。 ・地域の子どもたちと交流があればその時間は大切にしたいと思いますが、今のところ児童クラブや児童館との交流の機会を設けることまでは考えておりません。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	92.30%	7.69%			・説明して下さりました。 ・今後も継続して参ります。 ・全ての方に周知して頂けるように気を付けて参ります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	84.61%	7.69%		7.69%	・説明して頂きました。 ・全ての方に周知して頂けるように気を付けて参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7.69%	15.38%	7.69%	69.23%	・知りません。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	92.30%		7.69%		・連絡帳等でよく連絡が出来ていると思います。 ・今後も継続して参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	84.61%	7.69%	7.69%		・口頭等で助言を頂いています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	92.30%	7.69%			・共感して頂いているので安心して参ります。 ・今後も継続して参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7.69%	7.69%	23.07%	61.53%	・交流会やイベントがあるかどうかは知りません。 ・保護者会の開催は考えていませんが、保護者同士の交流の機会は提供していきたいと考えています。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	84.61%			7.69%	・相談についてはすぐに対応して下さり助かります。 ・今後も継続して参ります。 ・いつでもご相談頂ける環境を整えていきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	92.30%		7.69%		・いつも気を配って下さり助かります。 ・連絡帳や送迎時に子供の様子を伝えて頂いてます。	・今後も継続して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	76.92%	7.69%	7.69%	7.69%	・されていると思います。 ・ブログを拝見しています。	・今後も継続して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%				・配慮して下さっています。	・今後も継続して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	69.23%	7.69%		23.07%	・されていると思います。 ・緊急時（災害時）の対応を教えてくださいとありがたいです。	・各マニュアルや訓練内容はモニタリング時に閲覧できるようにしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	69.23%	7.69%		23.07%	・訓練がある日を教えてくださいと思います。	・訓練の実施日が月間プログラムに反映していないこともありました。今後は気を付けて参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	84.61%		7.69%	7.69%	・されていると思います。 ・特に事故や怪我もなく過ごしているので安全に配慮して頂いてると思います。	・今後も安全に気を付けて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	84.61%		7.69%	7.69%	・されています。	・全ての方に周知して頂けるようにいたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	92.30%	7.69%			・とても安心してます。 ・ソファでくつろいで過ごしていることも多くリラックスしていると思います。	・皆さんから「はい」が頂けない事を肝に銘じ安心して通っていただけるように致します。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	92.30%	7.69%			・楽しみにしています。	・今後も継続して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	92.30%		7.69%		・満足しています。 ・利用時間の件で、時々無理も聞いてくれて助かってます。	・今後も継続して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		くろーばー		公表日		2025 年 2 月 6 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・学習しやすい環境、車いすから降りても安心して過ごせるスペースを提供出来るように心掛けています。	・今後も安全に過ごして頂けるよう、十分なスペースを確保してまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・定められた配置数以上の人員配置を心掛けています。	・送迎時間が重なり、残るスタッフが手薄にならないような配置を心がけています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・学習スペースやゴロゴロスペースを必ず作るようにしています。	・お子様一人ひとりに合わせた具体的な支援環境が提供できるような設備になるようにしていきたいと思えます。 ・アクティブに活動出来るスペースの提供を考えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・毎朝の清掃、食事前や後、おやつ前後、子供たちの帰宅後の清掃。 ・ソファやフローアも消毒する習慣が出来ています。	・ぬいぐるみや寝具類の天日干しの頻度を増やしたいと考えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・個室にはベッドを置き自由に休める環境になっております。	・自由に使用できるため監視や管理面での職員の負担はあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	70%	30%	・職員間でも意見の出し合いを行い、相談や見直しを行っています。	・限られた時間の中で行っている為、時間の確保が課題です。 ・「PDCA」サイクルの再認が必要です。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・職員間で貴重な保護者様からの意向やご意見を真摯に受け止め業務の改善が出来るようにしています。	・限られた時間の中で行っている為、時間の確保が課題です。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・職員間でも意見の出し合いを頻繁に行い、相談しやすい環境を作っています。	・定期的に意見交換することで改善点も見つけ業務の向上に繋がっていると思えます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%		・法人内で意見交換の時間を作り業務改善に努めていますが、「評価」として挙げていることはありません。	・定期的に意見交換することで改善点も見つけ業務の向上に繋がっていると思えます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・法人内での研修は必ず実施し、尚且つ各事業所、職員一人一人のスキルに応じた研修を受けられるようにしています。	・職員一人一人のスキルに応じた研修の提供と管理。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・毎月、次月のプログラムを作成しお配りしています。また、子供たちにも今日のプログラムがわかるように見える位置に貼ってあります。	・今後も継続していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・意思決定支援が行えるよう努力しております。	・ニーズの吸い上げが難しい事もありますが、意思決定支援が行えるよう努力しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・職員間でも意見の出し合いを頻繁に行い、相談や見直しを行っています。	・限られた時間の中で行っている為、時間の確保が課題です。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	・職員間でも個別の計画を意識して子ども達の療育に携わっています。	・情報共有を全職員で行う為には、業務日誌や記録だと思っています。限られた時間の中で確実に記録を残す事は難しい時もあります。が実施していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50%		・発達検査結果の共有をさせて頂いています。日々の気になる行動は、支援記録に残しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	60%		・4月より支援に必要な項目の設定を順次行い支援内容に反映するようしております。	・職員の知識向上を行い、適切な支援を提供できるようにしていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・活動プログラムの立案も職員同士で話し合っていて決めています。	・個々の得意分野を生かし、個別プログラム、集団プログラムの立案をスタッフ全員でしていけるようにします。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			・チームでの連携を大切にしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	70%	30%	・職員間で朝の伝達事項等、情報共有を行っています。また、自分が休みの日の支援記録を閲覧する習慣をつけています。	・情報共有を全職員で行う為には、業務日誌や記録が重要だと思っています。限られた時間の中で確実に記録を残す事は難しい時もありますが実施していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	80%	20%	・定期的に面談・会議・支援の見直し・計画の立案・修正を実施しています。	・状況に応じて相談機関とも連携を取るようになっています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	50%		・集団プログラムだけでなく、自由時間では興味のある事を楽しめるようにしています。 ・月に1度は、お出かけする日を設けています。	・地域交流の機会の提供をどのように行うかが今後の課題です。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・個々に応じて選択できるように声掛けをしています。	・今後も継続していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・常勤専従職員が中心となり、通常よりお子様と接する時間が多い職員が参画するようにしています。	・今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%		・関係機関、学校と連携し、必要に応じて支援会議等を行う体制を整えています。 ・必要に応じて、許可を得た上で情報提供を行っています。	・今後も継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・必要な情報提供を求める際には、保護者や相談機関に申し出ます。	・今後も継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		・必要な際には情報共有を行い各事業所と調整して連携しています。	・必要な際には情報共有を行い各事業所と調整して連携しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		・必要な際には情報共有を行い各事業所と調整して連携しています。	・必要な際には情報共有を行い各事業所と調整して連携しています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		100%	・現状、そのような機会はありません。	・必要な際にはご意見を伺いたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100%	・現状、そのような機会はありません。	・地域の他のこどもと活動できる機会を定期的に提供出来たらよいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		100%	・現状、参加が出来ていません。	・参加の機会があれば積極的に参加させていただきたいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・送迎時や電話・メールなど日頃からのやりとりを通じて、共通理解を図り、支援に活かしています。	・今後も継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		100%	・現状、実施しておりません。	・ご意見ご要望を伺いながら検討していきたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・契約時に、契約書、重要事項説明書、利用者負担額などについて説明しています。	・定期的な面談時にも手に取って見て頂けるようにお声がけをしようと思います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・送迎時や電話・メールなど日頃からのやりとりを通じて、共通理解を図れるようにしています。	・今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・面談時に行っています。	・今後も継続していきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	50%		・ご要望があればさせていただきます。	・ご要望にお応えできるようにしておきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		100%	・現在は提供出来ていません。	・年に1度、イベント開催時に保護者様同士が交流できる機会を提供しようと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・迅速な対応を心がけています。また、社内でマニュアルや指針、第三者委員会の設置をしております。	・今後も継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・保護者さまに許可を頂いているお子様を掲載したブログを毎日公表しています。	・今後も継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・個人情報ファイル、支援記録等は鍵付きのキャビネットにて保管しています。	・今後も継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・必要に応じて個別に配慮をしています。	・今後も継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%	・現在は、実施しておりません。	・ご要望、ご意見を伺いながら、必要に応じて検討していきたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・非常災害緊急時の対応について、委員会や訓練は、年間スケジュールを立てて行っています。また、必ず各BCPの見直しを年1回以上行っています。	・今後も継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			・今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・アセスメント時に必ず状況を確認しています。 ・服薬の有無に関しましては、連絡帳や口頭で都度行っております。	・今後も継続していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・アセスメント時に必ず確認をしています。 ・おやつを準備する者が必ず見えるようにアレルギー対象の食材を除去する注意書きを対象者別に貼ってます。	・今後も継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・安全計画を作成しています。また、研修や訓練も年間スケジュールに組み込み行っています。	・今後も継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		・緊急時の対応について、取り組み内容の周知が出来ていませんでした。	・書面の配布を契約時以外に年に1回以上行えるよう年間スケジュールに組み込みます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ヒヤリハット報告を書面にて残し、職員ミーティングにて再発防止に努めています。	・今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・定期的に外部研修、社内研修を行い適切な対応が出来るように努めています。	・資質の向上が図れるように致します。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・現在、対象者はいません。	・指針に基づいた対応を行います。	